2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　ランサーズ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4484　　URL　https://www.lancers.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長 CEO　（氏名）秋好　陽介
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 兼 コーポレート本部長（氏名）安川　久美子　（TEL）03(5774)6086

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　機関投資家、証券アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,656	6.8	55	50.7	62	48.8	57	31.7
2026年３月期中間期	2,486	10.2	36	△26.9	41	△19.5	43	△9.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　57百万円（　31.7%）　2026年３月期中間期　43百万円（　△9.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	3.58	3.32
2026年３月期中間期	2.67	2.48

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	3,273	1,399	42.0
2026年３月期	3,664	1,406	38.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　1,374百万円　2026年３月期　1,391百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	2.00	2.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	3.00	3.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	15.9	300	49.1	270	30.4	250	174.6	15.40

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　―社（社名）　　除外　　１社　（社名）　MENTA株式会社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	16,245,228株	2026年３月期	16,245,228株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	334,937株	2026年３月期	187,237株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	15,934,876株	2026年３月期中間期	16,245,191株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料Ｐ．３「１．当中間期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続いた一方、地域紛争をはじめとする地政学的リスクや自然災害の影響等を背景に金融市場の見通しはいまだ不透明な状況が続いております。また、生成AIやAIエージェントなど次世代技術の急速な進化により、企業の業務プロセス・ビジネスモデル・経営モデルそのものを抜本的に再設計する動きが本格化しております。一方、こうしたAX（AIトランスフォーメーション）を推進できる高度なAIスキルを有する人材の不足は一層深刻さを増しており、外部の専門人材の活用と、個人のリスキリングの重要性がこれまで以上に高まっております。

このような環境において、当社グループは「個のエンパワーメント」をミッション、「人と経済の可能性を、テクノロジーで解き放つ」をビジョンに掲げ、企業に対しては経営課題の解決に向けたAXの統合ソリューションを、個人に対しては、仕事のマッチングプラットフォームを通じて、AI時代において高付加価値な仕事獲得の機会とリスキリングの機会を提供しております。

当社グループでは、業界知見を持つ330万人のフリーランスとAI実装に精通したAIエキスパートを強みとし、「人材」と「AI」を融合した『ハイブリッド型AXカンパニー』として、企業の経営課題の解決を戦略策定から現場実装まで一気通貫で支援する事業を展開しております。当中間連結会計期間においては、登録人材330万人のプラットフォームを基盤として、マッチングからコンサルティングまでの各サービスに顧客及び人材を供給する、生産性の高い循環モデルの強化に取り組んでまいりました。

■ マッチング

AIの実用化の進展に伴い、記事作成やデータ入力等の定型的な業務領域では発注の縮小が継続した一方、AI実装支援・AI導入コンサルティングや生成AI関連開発をはじめとする領域では需要が急速に拡大しており、需要構造の変化を捉えた高付加価値領域への注力を進めてまいりました。マッチングにおいては、厳選したAI専門家が企業にAI活用を助言する「ランサーズAI顧問」、専任コンシェルジュが業務プロセスを整理しAI活用のポイントを提案する「AI導入コンシェルジュ」等の新サービスをリリースし、AI関連の発注の取り込みを図りました。あわせて、当社自身のオペレーションにおいては、審査業務へのAI導入をはじめとするAI活用により事業運営の生産性向上を推進した結果、マッチングは前年同期比で増益となりました。

■ コンサルティング＆ソリューション

社員コンサルタント・エンジニアがプロジェクトマネジメントを担い、外部プロ人材・フリーランスがデリバリを担う「ハイブリッドチーム」体制のもと、戦略コンサルティングサービスを提供する「Lancers Strategic Consulting」とシステムインテグレーションサービスを提供する「Lancers One’s Solution」の連携提案に加え、マッチング事業の顧客基盤と人材を活用したことにより大手金融機関・大手コンサルティングファーム等の支援実績が拡大したことで、売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。AI関連新規事業においては、中堅企業の業務へのAI実装を支援する「ランサーズ生成AI Solution」、経営者向けAIコーチング「AX GYM」の提供を開始し、中堅企業のAI実装支援や大手企業のAI研修等の受注を獲得するなど立ち上がりの段階にあります。以上により、コンサルティング＆ソリューションは前年同期比で営業損益が改善いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は2,656,204千円（前年同期比6.8%増）となり、営業利益は55,229千円（前年同期比50.7%増）、経常利益は62,062千円（前年同期比48.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は57,013千円（前年同期比31.7%増）となりました。なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

（２）財政状態に関する説明

財政状態の分析

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して390,752千円減少し、3,273,472千円となりました。これは主に、流動資産において現金及び預金が84,426千円、売掛金が101,866千円、未収入金が109,607千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して383,398千円減少し、1,874,131千円となりました。これは主に、流動負債において未払金が112,204千円、預り金が57,886千円、固定負債において長期借入金が61,288千円減少したこと等によるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して7,353千円減少し、1,399,340千円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が57,013千円増加した一方で、剰余金の配当により利益剰余金が32,115千円減少し、自己株式の取得により自己株式が41,937千円増加したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して127,996千円減少し、2,034,448千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、31,506千円の収入（前年同期は96,087千円の収入）となりました。 これは主に、未払金の減少額が108,793千円、預り金の減少額が57,886千円あった一方で、売上債権の減少額が101,866千円、未収入金の減少額が109,607千円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、14,413千円の支出（前年同期は90,481千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が13,560千円、有形固定資産の取得による支出が712千円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、145,089千円の支出（前年同期は255,145千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が65,868千円、自己株式の取得による支出が42,181千円、配当金の支払額が32,043千円あったこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日に公表した内容から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,088,722	2,004,296
売掛金	599,080	497,214
仕掛品	－	138
前払費用	25,391	30,503
未収入金	225,013	115,405
その他	73,958	30,328
貸倒引当金	△5,383	△1,182
流動資産合計	3,006,783	2,676,704
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,256	963
工具、器具及び備品（純額）	5,113	5,109
有形固定資産合計	6,370	6,073
無形固定資産		
ソフトウエア	214,593	176,998
ソフトウエア仮勘定	6,307	4,193
のれん	241,467	223,784
その他	265	242
無形固定資産合計	462,633	405,219
投資その他の資産		
敷金及び保証金	34,866	35,006
繰延税金資産	153,571	150,469
その他	0	－
投資その他の資産合計	188,438	185,475
固定資産合計	657,441	596,767
資産合計	3,664,224	3,273,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,989	275,144
短期借入金	14,162	9,166
1年内返済予定の長期借入金	131,736	127,156
未払金	293,593	181,389
未払費用	119,385	102,832
未払法人税等	25,618	8,742
未払消費税等	48,049	25,419
預り金	543,081	485,195
賞与引当金	67,010	46,203
株主優待引当金	20,250	22,556
その他	17,436	6,399
流動負債合計	1,612,314	1,290,203
固定負債		
新株予約権付社債	300,000	300,000
長期借入金	345,216	283,928
固定負債合計	645,216	583,928
負債合計	2,257,530	1,874,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,000	55,000
資本剰余金	1,239,788	1,239,788
利益剰余金	154,765	179,663
自己株式	△58,086	△100,023
株主資本合計	1,391,468	1,374,428
新株予約権	15,225	24,911
純資産合計	1,406,693	1,399,340
負債純資産合計	3,664,224	3,273,472

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,486,826	2,656,204
売上原価	1,473,659	1,706,767
売上総利益	1,013,167	949,436
販売費及び一般管理費	976,510	894,207
営業利益	36,656	55,229
営業外収益		
受取利息	1,781	4,431
営業債務消滅益	4,814	3,990
その他	1,631	3,212
営業外収益合計	8,226	11,634
営業外費用		
支払利息	3,127	4,052
その他	52	749
営業外費用合計	3,180	4,801
経常利益	41,703	62,062
税金等調整前中間純利益	41,703	62,062
法人税、住民税及び事業税	2,641	1,946
法人税等調整額	△4,233	3,102
法人税等合計	△1,592	5,049
中間純利益	43,295	57,013
親会社株主に帰属する中間純利益	43,295	57,013

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	43,295	57,013
中間包括利益	43,295	57,013
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	43,295	57,013

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	41,703	62,062
減価償却費	57,514	51,045
のれん償却額	25,250	17,682
株式報酬費用	5,435	9,686
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,171	△4,201
受取利息及び受取配当金	△1,781	△4,431
支払利息	3,127	4,052
売上債権の増減額（△は増加）	△24,698	101,866
前払費用の増減額（△は増加）	△1,635	△5,111
未収入金の増減額（△は増加）	41,549	109,607
買掛金の増減額（△は減少）	23,922	△56,845
未払金の増減額（△は減少）	△56,101	△108,793
未払費用の増減額（△は減少）	△31,694	△16,554
未払消費税等の増減額（△は減少）	△2,033	△22,630
預り金の増減額（△は減少）	△20,628	△57,886
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,187	△20,806
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	5,509	－
株主優待引当金の増減額（△は減少）	－	2,305
その他の資産の増減額（△は増加）	7,166	△78
その他の負債の増減額（△は減少）	16,074	△21,873
その他	－	244
小計	87,700	39,338
利息及び配当金の受取額	1,781	4,431
利息の支払額	△3,126	△4,051
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	9,731	△8,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,087	31,506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,768	△712
無形固定資産の取得による支出	△26,915	△13,560
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△58,797	－
敷金及び保証金の差入による支出	－	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,481	△14,413
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	60,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△834	△14,996
長期借入れによる収入	240,000	－
長期借入金の返済による支出	△44,037	△65,868
新株予約権の発行による収入	16	－
自己株式の取得による支出	－	△42,181
配当金の支払額	－	△32,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	255,145	△145,089
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	260,751	△127,996
現金及び現金同等物の期首残高	1,767,036	2,162,444
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,027,787	2,034,448

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。